

広報

今 帰 仁

なきじん

毎月1日発行

1999

8月

NO.285

●今帰仁村の人口

男4,823人(+2) 女4,764人(-3) 計9,587人(-1)
世帯数3,323戸(+2) 平成11年6月30日現在

今帰仁御神



献血キャラバン隊 「愛の血液

助け合い運動」で本村を訪問

「生まれ、いのちのサポーター」の標語で愛の血液助け合い運動が全国一斉に展開された七月十四日、献血キャラバン隊(宮城朝光隊長一行約二十人が本村を訪問し、献血への理解と協力を呼びかけた。

村役場玄関前では職員大勢が出迎えて伝達式が行われ、宮城隊長が知事メッセージを上間博安村長に手渡した。続いて名護さくらの女王(キャラバンガール)から献血啓発資料と記念品が贈られた。

上間博安村長は「今後、村をあげて献血思想の普及と血液の確保を目指していきたい」と決意を述べた。

今帰仁村民憲章

- 一、 みんなで守ろう 恵まれ
- 一、 た自然と文化遺産を
- 一、 みんなでつくろう うる
- 一、 おいとやすらぎのある村を
- 一、 みんなで育てよう のび
- 一、 ゆく力と豊かな心
- 一、 みんなでめざそう 健康
- 一、 みんなで築こう 平和で
- 一、 みんなで築こう 明るい活力のある村を

[ポスターの部] 優良賞

学校名	氏名	学年
天底小学校	あらかき かな	1年
古宇利小学校	なかそねこうた	1年
天底小学校	大城 俊哉	2年
今帰仁小学校	上間 紗代	2年
天底小学校	岸本 拓麻	3年
今帰仁小学校	大城 みさ	3年
今帰仁小学校	上間 さつき	4年
今帰仁小学校	上間 正一	4年
兼次小学校	上間 翔	5年
今帰仁小学校	金城 彩織	5年
天底小学校	座間 味洋貴	6年
天底小学校	小那 覇真弓	6年
兼次中学校	島袋 貴行	1年
兼次中学校	與那嶺 明子	1年
古宇利中学校	仲村 成史	2年
兼次中学校	仲里 麻美	2年
古宇利中学校	金城 祐美	3年
兼次中学校	諸喜田千寿子	3年

[作文の部] 優良賞

学校名	氏名	学年
今帰仁小学校	のなか いちよ	2年
天底小学校	じゃはな あやこ	2年
天底小学校	友寄 優伊	3年
今帰仁小学校	与那嶺 光太	4年
天底小学校	与那末 菜美	6年
古宇利小学校	金城 秀寿	6年

[標語の部] 優良賞

学校名	氏名	学年
天底小学校	よな まどか	1年
今帰仁小学校	たまきしゅんたろう	1年
天底小学校	まつだ ももこ	2年
今帰仁小学校	がなは しほ	2年
今帰仁小学校	島袋 妙子	3年
天底小学校	嘉陽 扶	3年
天底小学校	照屋 みちる	4年
兼次小学校	諸喜田 繁	4年
今帰仁小学校	金城 彩織	5年
天底小学校	小浜 知里	5年
天底小学校	おおしろたかえ	6年
今帰仁小学校	上間 文望	6年

第6回 「朝読み・夕読み」
作文・標語・ポスターコンクール

本村学対の重点事項である「朝読み・夕読み」の実践に対する児童生徒への激励称賛を目的に第六回「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクールの表彰式が六月二十四

日、村コミュニティセンターで開かれ、児童生徒やPTA、教職員など関係者百五十人が参加した。表彰式で大城藤夫教育長は「今日の入賞を記念に学校での読書活動をさらに

が贈られた。なお、優秀賞に輝いた作文・標語・ポスターは来月号から順次「広報なきじん」で紹介されます。コンクールの入賞者は別表のとおり。



▲大城教育長から賞状を受け取る児童

今年村内の小学校、中学校からの応募点数は作文二十五点、標語三百八十四点、ポスター二百二十二点。厳正な審査の結果、優秀賞十八点、優良賞三十六点が選ばれ、大城教育長から入賞者一人ひとりに賞状

入賞者名

[ポスターの部] 優秀賞

学校名	氏名	学年
古宇利小学校	しまぶくろ ゆうな	1年
天底小学校	小那 覇哲理	2年
今帰仁小学校	島袋 妙子	3年
今帰仁小学校	嘉陽 恵理香	4年
今帰仁小学校	大嶺 結子	5年
今帰仁小学校	諸喜田 万里	6年
兼次中学校	玉城 ちひろ	1年
湧川中学校	嘉陽 沙紀	2年
古宇利中学校	古宇利 恵美	3年

[作文の部] 優秀賞

学校名	氏名	学年
今帰仁小学校	おくむら たくま	2年
天底小学校	与那 響	4年
今帰仁小学校	金城 彩音	5年

優秀賞18点、優良賞36点

[標語の部] 優秀賞

学校名	氏名	学年
天底小学校	うんてんりな	1年
今帰仁小学校	くだあきや	2年
天底小学校	高田 明典	3年
今帰仁小学校	上間 さつき	4年
兼次小学校	上間 実夏	5年
兼次小学校	金城 証	6年

「自分の道を自分で切り拓く」

車椅子の伊是名さん 北山高校で講演

これまでの自分自身の生活のあり方を見直し、これからの進路、人生観の形成に役立てようと、現在車椅子の生活を送りながら県立首里高校二年に在学している伊是名夏子さんを迎えての講演会が七月三日、北山高校視聴覚教室で開かれた。

また、伊是名さんは「これまで自分が不幸だと思ったことは一度もない。何事でもすぐ行動するのではなく目標を立てて思い続けることが大切」と参加者に呼びかけた。講演会終了後には、活発な質疑応答が行われ、これからの進路に向けて生徒らの意気込みを感じた。

講演会はボランティア部を中心に三年一組が企画して行われ、先生や生徒、PTA約二百人が参加した。伊是名さんは講演の中で養護学校に九年間いたことや、首里高校に進学したいが障害者への設備が整っていないことで両親に反対されたことなど、生い立ちから今日の生活までを十七歳とは思えない軽やかな口調で話してくれた。



▲「自分が不幸だと思ったことは一度もない」と話す伊是名さん

北部12市町村から230人 北部地区社会を明るくする運動 —今帰仁大会—



▲天底小金管バンド部を先頭に国道をパレード



▲主催者を代表してあいさつする上間博安大会長

犯罪や非行のない明るい社会を築こうと七月十六日、北部十二市町村から保護司など関係者二百三十人が参加して社会を明るくする運動今帰仁大会が村コミュニティセンターで開かれた。

式で上間博安大会長は「この運動が住みよい地域づくりにつながるよう底辺の拡大に努めていきたい」とあいさつ、続いて実施委員長あいさつ、

来賓祝辞があり、その後小那覇泉さん(今帰仁中一年)や具志織江さん(北山高二年)、保護司の島袋輝志雄さんらの意見発表なども行われ、青年の非行防止を訴えるとともに、罪を犯した人の更生に共通の理解と認識を深めた。

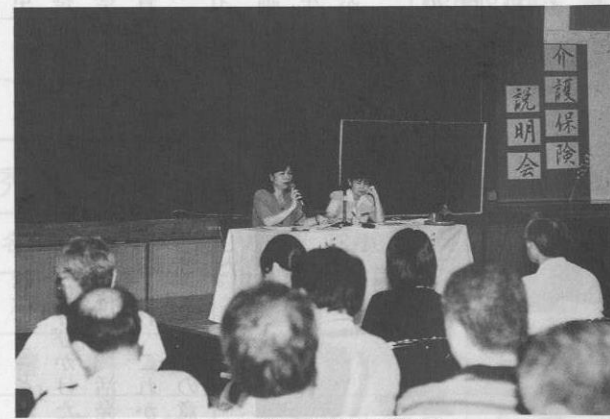
また社会を明るくする運動標語の部で嘉数誓也君(兼次中三年)が最優秀賞、金城祐美さん(古宇利中三年)と前原尚君(湧川中三年)が優秀賞で表彰された。

今大会は青少年の深夜はいかい防止村民大会とセットで開催され、式後は天底小金管バンド部の伴奏で深夜はいかい防止を呼びかけながら、国道をパレードした。



▲深夜はいかい防止を訴える参加者

地域のリーダー・関係者を集めて 「介護保険」説明会 始まる!!



▲介護保険制度を説明する県職員

来年四月からスタートする介護保険制度の説明会が七月十三日、村コミュニティセンターで行われ、各種団体、福祉施設職員、関係者約百三十人が参加した。

上間博安村長が「村民が安心して過ごせるよう介護される立場で介護保険に対する理解を深めていただきたい」とあいさつ。続いて仲尾次吉澄村福祉課長が介護保険法施行に向けた村の取り組み状況について報告した。

その後、県福祉保健部長寿社会対策室の知念貞子介護保険班主幹が介護保険制度について説明を行い、その中で知念主幹は「沖縄県は長寿日本

一であるが、六十五歳以上の方で寝たきりの期間が長いのも全国一」と話し、介護保険制度の必要性を訴えた。

また、説明会終了後の質疑応答では、活発な質問があらこちから出され、介護保険制度に対する関心の高さがうかがわれた。

無事故の願いを込め、本部 中学校吹奏学部の演奏響 く「夏の全国交通安全運動」

夏の全国交通安全運動(主催・本部町交通安全推進協議会)の出発式が七月八日、本部町地域福祉センター中庭で行われ、交通安全協会や町村役場職員、児童生徒ら関係者多数が参加した。

出発式では、仲榮眞盛順本部長、東恩納盛義本部警察署長、大見恒篤交通安全協会



▲交通事故防止に向け、決意を新たにした出発式

平成十一年度全国地域安全運動用ポスター・標語の本部地区優秀者表彰式が七月九日、本部警察署で行われ、ポスターの部で上間渚さん(兼次中三年)と島袋一也君(同中三年)、標語の部で山城若菜さん(今帰仁中二年)と小那覇泉さん(同中一年)がそれぞれ優秀作品表彰された。

今年の応募点数は、ポスター三十四点、標語百六十三点で入賞者一人ひとりに東恩納盛義署長から賞状と記念の盾が贈られた。



▲嘉陽宗平さん

厚生大臣特別 表彰を受賞!! 民生委員・児童委員の 嘉陽宗平さん

今帰仁自校で 交通安全指導 白バイ隊員から 二輪車の実技学ぶ

夏の全国交通安全協会県民運動を目前に控えた七月六日、北山高校、本部高校の生徒六十人を対象に二輪車交通安全指導が今帰仁自動車学校(仲尾

次実校長)で行われた。これは高校生ら若者の事故が毎年増える傾向にある中でオートバイに乗る高校生の技術と運転マナーの向上が目的。

当日は、本部警察署員や交通安全協会職員、交通機動隊(白バイ隊員)、今帰仁自動車学校職員ら十九人が交通安全指導にあたった。

実技指導では、オートバイ事故が高速でカーブを曲がり切れず、対向車やガードレールに激突して死亡するケースが多いため、白バイ隊員によるカーブの模範演技が繰り返し行われ、高校生らはスピードの出し過ぎがカーブでの大きな事故につながることを改めて実感していた。

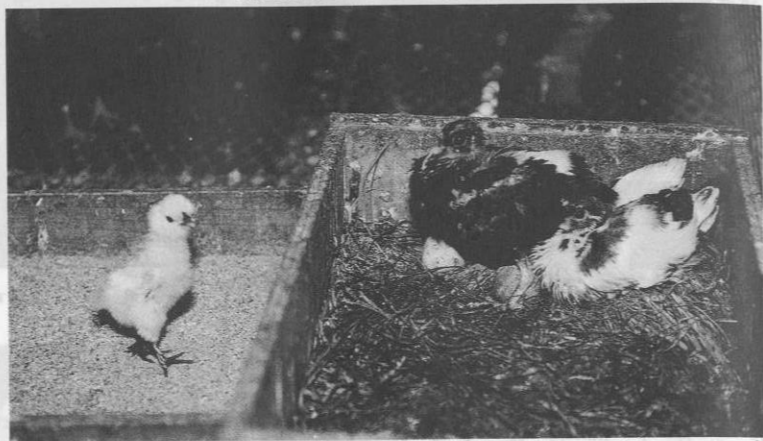


▲(前列左から)小那覇泉さん、島袋一也君、上間渚さん、(後列)山城若菜さんの代理、具志堅博昭先生

民生委員・児童委員に対する厚生大臣特別表彰伝達式が六月三十日、県庁四階講堂で行われ、これまで民生委員・児童委員として長年にわたり地域住民の生活支援と福祉向上に尽力してきた嘉陽宗平さん(具我山四二一)が厚生大臣特別表彰を受賞した。

嘉陽さんは「地域の皆さんに支えられて長い間努めることができた。大きな賞をいただいてほんとうにうれしい」と受賞の喜びを語った。

▼見た目は違っても、僕たちは兄弟！



「生みの親より育ての親」 鳩がウコッケーの卵をふ化 ひなすくすくと育つ『兼次小』

兼次小学校（上間久武校長 生徒数百七十七人）では、このほど学校の飼育小屋で二個の卵を抱いている鳩の巣の中に、卵を生みつばなしにしているウコッケーの卵を一人入れた所、約三週間後に無事三羽のひなが誕生し、子どもたちを喜ばせている。

安田加教頭の話では、子どもたちが鳩にウコッケーの卵を

を抱かせているの知らず、ふ化後しばらくして鳴き声の違いで気が付いたという。産まれて間もない頃は、ウコッケーのひなが大きく鳩のひなを圧倒していたが、生後二週間ぐらいで鳩のひながどんどん大きくなり、ウコッケーの数倍にも成長。その頃から体の大きい鳩がウコッケーをつついたり、蹴ったりとや



▲ウコッケーの親鳥

りたいた放題。それを見かねた仲村利紗さん（三年生）が、「いじめられてかわいそう」との思いからみんなに内緒で二三日家に持ち帰り、親に代わって大切に飼育した。後でそれを知った安田教頭は「動物を思いやる利紗さんのやさしい心くばりに感心した。利紗さんの気持ちはきつとウコッケーにも通じたことでしょう」と話した。

また、上間校長は「この飼育小屋を将来は期成会の協力を得ながら、ふれあい動物ランドの名前で規模を大きくして子どもたちの活動の場にしていきたい」とこれからの夢を語った。

ミツバチといえは花から花へと蜜を集めて巣に蓄えていくという働き者のイメージがある。実際、ミツバチの社会は綿密な役割分担の中で日常生活が営まれているが、食料はおろか巣作りからその掃除、幼虫やさなぎの世話など全てはたらきバチが一手に引き受けている。だからミツバチの社会は、はたらきバチ抜きでは語れないのである。

与那嶺区のアサギの松に ミツバチの大群を発見



▲松の幹にしっかりと根をおろしたミツバチの大きな巣

与那嶺区（山内清区長）の公民館西側にあるアサギの松にこのほど、めつたにお目にかかれぬミツバチの大きな巣が見つかり地域の話題になっている。

青少年の主張大会



「絶対一位になる」という声がどのクラスからも聞こえてきました。私達のクラスは早くから練習にとりかかり、かなりの好記録を出すまでになっていました。しかし去年、早朝練習や放課後遅くまで残ったの練習にたえることのできなかつた私は正直言って、この種目が嫌いでした。足がそろわなかつたことで苦しい言葉をあげられ、とても嫌

な思い出があったからです。そんな時でした。特殊学級のMさんが「走るの苦手だけど私もみんなと一緒に走りたい」と言ってきました。彼女の意志は固く、誓約書まで書いていたのです。それには「転んでもやめません」などとMさんなりに固い決意が述べられていました。前向きな

彼女の話に私は圧倒され、これまでの自分なんて小さな事を気にする弱い人間だったのだろうと思いつつ、みんなと協力して走る決意を新たにしました。

クラスはMさんの熱意を感じ参加を認めることにしました。しかし現実には、彼女と一緒に走るの容易なことではありませんでした。レク大会

いろいろ理由をつけて参加しない日が何度かありました。仲間と意見が合わずにクラスからどんどん孤立していく私。ところが正対にMさんは泣きごとを言わず私達と同じ練習メニューをこなして、さらにリーダー達と猛特訓をしていたのです。彼女を支えて共に頑張ってきたクラスのリーダー達。何度転んでも足から血

心の壁を乗り越えて

今帰仁中三年 岸本 江利香

の日が近づいても私達のクラスは歩くだけで精一杯でした。それでもクラスのリーダー達は「一位になる」とますます練習に力を入れていきました。なぜここまで勝敗にこだわるのだろうか、彼女にはきつい練習ではないのか、そう思った私は練習に熱が入りません。練習の時間もいろ

が出て誰も誰一人として練習をやめようと思わないクラスの仲間達。そんな仲間達を見て今までの私の考えは思い過ごしだった事に気付いたので。仲間には彼女を受け入れ、それでも良い記録を残したいと思っていたのです。

そんな私にふとあの言葉が頭によぎったのです。「只要作就可以分到」。やればできる。その言葉の通り人間何でもやろうと思えばどんなに困難な壁でも乗り越えることができるはず。

そして運命の本番の時、私達クラスはこれまでにない団結を見せ、ゴールまでの直線をかけぬけました。走り終えた後に彼女が「ありがとう」と涙を流し、仲間も共に込み



子どもたちにバスケットボールの面白さと協力してプレイできる態度を身につけさせようと七月十一日、第三十一回村少年少女ミニバスケットボール大会が村民体育館で開催された。

大会は男子九チーム、女子七チームが参加、選手たちは会場を埋め尽くした父母らの熱い声援を受けながら、優勝



▲男子優勝の湧川チーム

圧倒的な強さで

男子 湧川
女子 今泊

が優勝

村少年少女ミニバスケットボール大会

を目指して広いコート縦横無尽に動き回っていた。試合は、一回戦から圧倒的な強さで勝ち抜いてきた男子湧川と女子今泊が決勝でも他を全く寄せ付けず、大差で優勝を飾った。



▲勝利のVサイン 今泊チーム

六月十三日から二十五日までの間、村運動公園サブグラウンドで行われた第十二回壮年ソフトボール大会(主催、壮年ソフトボール協会)は、村内十六字から十八チーム(今泊、仲宗根各二チーム)が参加して白熱した好ゲームを展開した。

大会は若夏の暑い日中を避けて全試合ナイターで行われ

第十二回壮年ソフトボール大会 今泊Aが三回目のV!!



▲見事なブロックをかくる白球

とあって、応援に駆けつけた家族や同僚らもつかの間の夏の涼を楽しみながら、自分たちのチームに盛んな声援を送っていた。

決勝は新戦力でパワーアップした今泊Aが、前回の覇者仲宗根Aを十五対八で破り、三回目の優勝を果たした。

●殊勲賞 新城 満(今A)

男子-兼次中
女子-今帰仁中
に栄冠
村PTA
バレーボール大会

第二十四回村PTAバレーボール大会が七月四日、村民体育館で開かれた。

村内の各小、中学校をはじめ北山高から男女それぞれ七チームが出場して熱戦を繰り



▲優勝に笑顔の今泊Aチーム

- 敢闘賞 平安 常康(仲A)
- 打撃賞
- 一位 上間 恒章(今A)
- 二位 仲尾次春喜(仲A)
- 三位 津波 重信(仲A)

広げ、各チームともお互いに声を掛け合いながらレシーブ、スパイクと次々に息の合ったプレーを披露した。

大会にはお父さん、お母さんが出場するとあって、子どもたちの応援の姿も多く、会場は得点することに歓声が響いた。

決勝は、男子は兼次中が北山を、女子は今帰仁中が兼次中をストレートで下し優勝した。



▲浜に捨けられたごみを丁寧に拾う 建設協会の職員ら

夏の風物詩 今帰仁産ブドウ たわわに実る

甘酸っぱい味にほっぺもこけそうー。本村では、今年もブドウ狩りの季節がやってきた。今期は気候の変化に伴う

着果率の減少や苗の植え替えなどにより十一生産農家のうちブドウ狩りを実施したのは六戸。

謝名で約千坪ほどのブドウ園を営んでいる米須清和さんは「今年のブドウの味はまずまずだが、全体的に不作」といいながら米須さんの畑では、甘さをいっばい含んだみずみずしいブドウを買い求め



▲ブドウ狩りにぎわった米須さんのブドウ園

て、週末になると中南部からバスをチャーターしてブドウ狩りを楽しむ訪問客でごった返していた。

ブドウ狩りは例年、八月の上旬ごろまで続くが今年は七月いっばいで終わりそうだ。

村建設業協会がクリーン作戦 山のようながみが集まる!

夏休みを目前にひかえた七月十三日、村建設業協会(島袋松男会長)の職員五十人が通称ウッパマから村運動公園(村民の浜)まで約一・五キロを清掃した。

青空が広がったこの日、四トントラック三台、タイヤンヤボ四台が出動し、二班に分

かれて午後四時に作業を開始海岸に流れ着いたごみや空き缶、雑草などを丁寧に拾い集めトラック十台分の山のようながみが運ばれた。

島袋会長は「この海浜をきれいに訪れる人たちに喜んでいただければ幸い」と話していた。

出荷始まる!! ゆうパック出発式

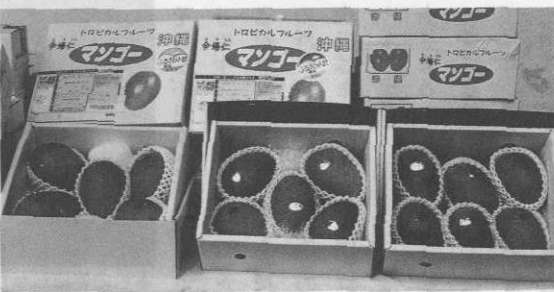
トロピカルフルーツ今帰仁産マンゴー

今帰仁産の甘く、香り良いマンゴーをお届けします。七月六日、今帰仁郵便局(親川恵一局長)のマンゴーゆうパック出発式が行われた。

昨年は暖冬、長雨の影響でほとんどの農家が減産を余儀なくされ、ゆうパック出発式も中止された経緯がある。しかし今年のマンゴーは、甘さ香りとも好評でこれまで二百箱の注文を受けており、まずまずの出足。



▲郵便車にマンゴーを積み込む関係者



▲箱詰めされたマンゴー

出発式には大城勝助役をはじめ多数の来賓が出席。親川局長は「八年目を迎えるマンゴーゆうパックも着実に実績を伸ばし、今年は四千個を目標に取り組んでいきたい」とあいさつ。生産者を代表して宮城康吉組合長は「生産者は自信を持って消費者に満足いただける商品をお届けしたい」と話していた。



天底小と古宇利小中で 季節はずれの運動会

練習の成果を披露

天底小学校(伸本光夫校長 生徒数二百九人)の運動会が「青空の下 光り輝け 元気いっぱい 天底っ子」のテーマで六月二十七日、古宇利小中学校(島袋啓一校長・生徒数五十一人)の運動会が「駿足で駆け抜ける、魅せる技を太陽の下で」のテーマで七月十一日、それぞれの運動場で開かれた。



▲小学生全員による校歌ゆうぎ(天底小)

天底小学校の運動会は九月から校舎新築工事が始まるため急ぎよ日程を変更して行われ、低学年のかけっこや高学年の総力リレー、マーチング、エイサー、二人三脚など二十種目の競技にさわやかな汗を流した。特に六年生の親子による二人三脚は、親子仲良く小学校最後の楽しい思い出となった。

また、古宇利小中学校でも地元郷友会からの要望や来年十月に全国へき地大会が同校で行われるとあって七月の開催となった。運動会は、幼稚園児のかけっこや小学生の千変万化、中学生のフォークダンス、小学生全員による古宇利っ子大



▲快晴の下、力走する選手たち(古宇利小中)

エイサーなど、真夏の暑い日ざしの中でみっちり練習を積んできた生徒たちの多彩な種目が披露された。

特に「古宇利っ子大エイサー」は力強い太鼓の音が会場に響き渡り、駆けつけた家族や関係者から惜しみない拍手が送られていた。

婦 女 健 保 だ め り

夏の日差しが一段と強くなり、厳しい暑さが続いています。村民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年も住民健診の季節となりました。住民健診は様々な目的で実施されていますが、今婦仁村においては全国的にも「がん」、「脳卒中」、「心臓病」といった生活習慣病といわれる病気で亡くなる方が増加しています。今婦仁村内で平成十年度に亡くなった方々の死因もこれら生活習

住民健診へのご案内



慣病によるものが全死因の六二%を占めている現状です。住民健診は病気を発見するためだけではなく、現在の自分の体の状況を知り、これからの生活の中に生かしていくことで生活習慣病を予防し、健康な生活を続けていくという目的もあります。今年も是非、住民健診を受けて健康づくりに努めましょう。

① 胸部レントゲン
・服装はすぐ脱げるように、着脱しやすいものを。

② 血圧測定
・測る前に二〜三回深呼吸し、緊張をほぐしましょう。

③ 尿検査
・検査会場ですぐとれるよ



④ 血液検査
・血液検査は食事による影響が大きいため、検査の二時間以内は甘い物などをとらないようにしましょう。

⑤ 心電図検査
・待ち時間の喫煙は避けましょう。

⑥ 胃の検査
・胃の検査は午前中に行われます。前日は早めに夕食をすませ、当日は朝から水、食事、お菓子、薬、ガム、タバコ等口から物を一切入れないようにし

⑦ 喀痰・大腸がん検査
まじょう。
提出日に間に合わなかった場合は保健センターへご連絡下さい。

住民健診日程

9月	
2日(木)	住民健診(兼次・諸志)
3日(金)	住民健診(仲尾次・与那嶺)
4日(土)	住民健診(今泊)
5日(日)	住民健診(仲宗根)
6日(月)	住民健診(崎山・平敷)
7日(火)	住民健診(謝名・越地)
8日(水)	住民健診(玉城・呉我山)
9日(木)	住民健診(湧川)
13日(月)	住民健診(天底・勢理客)
14日(火)	住民健診(上運天・運天)
16日(木)	住民健診(渡喜仁・役場)
17日(金)	住民健診(古宇利)
10月	
9日(土)	住民健診(モレ)

*都合により最寄りの公民館で受診できなかった方は、他の字の公民館でも健診を実施していますので是非検査を受けましょう。

村文化財保存調査委員六人に 委嘱状を交付

六月三十日、村教育委員会(大城藤夫教育長)は村内の文化財の保護、指定及び解除等を教育委員会の諮問に応じ、調査もしくは審議し、答申する六人の文化財保存調査委員に委嘱状を交付した。

また委嘱状交付後、平成十一年度第一回文化財保存調査委員会を開催。十一年度事業計画等を審議し、教育委員会に答申された。文化財保存調査委員は次のとおり。

- 議長 玉城 松次
- 副議長 大嶺 和彦
- 委員 新城 春樹
- 委員 安座間 安史
- 委員 安田 きみ子
- 委員 仲原 弘哲

県ホッケー協会会長に 西島 一将 氏

県ホッケー協会会長として十一年間、県ホッケーの振興にご尽力くださいました山内昌雄氏の後任に四月一日付けで西島一将氏(与那嶺五十四)が就任しました。山内さん長



西島一将氏

北部地区吹奏楽コンクール 天底小、見事優勝!!



▲「ノヴェナ」を演奏する金管バンド部

第九回北部地区吹奏楽コンクールが七月四日、名護市民会館大ホールで開かれ、小学校の部で天底小学校・渡慶次淳子先生指揮の金管バンド部(四十人)が見事優勝を飾った。小学校の部には、このコンクールを目指して練習を積み重ねてきた北部地区の五校が出場、天底小はスウェアリンゲン作曲の「ノヴェナ」で優勝という快挙を成し遂げた。

今帰仁街道(すくみち)の松並木

今帰仁村内の街道筋には、かつて松並木が至る所にあった。今でも僅かに残る松の老木は往時の松街道を彷彿させる。今帰仁街道は、宿道(すくみち)とも呼ばれ、かつて首里王府から各番所に達を伝達する道筋でもあった。

故新城徳佑氏は昭和三十年二月に謝名から今泊に至る西側の道沿いの松並木調査を行っている(新城徳祐氏ノート)。二枚の写真)。今帰仁街道の松並木を文化財に指定するため、その時の調査地点は、今帰仁校・馬場・平敷・仲尾次・与那嶺・諸志・兼次・兼次中



▲今帰仁街道(兼次中学校前)(昭和30年)

学校前・今泊・ジャニで、計四百十本の松を確認している。その年の九月には「今帰仁村役所」の調査があり、謝名(今校(九十本)、仲原馬場(五十本)、平敷(崎山入口(六十二本)、仲尾次(三十三本)、与那嶺(四十四本)、諸志(三本)、兼次(四十三本)、親泊(ニクン迄(二十二本)、計三四七本である。

一枚目の写真は兼次中学校の街道沿いの松並木である。



▲フェイ台風後の仲原馬場(昭和32年)

昭和三十年には兼次校前の松並木は三十六本もあり、往時の街道筋の松並木の面影をよどめている。近世から明治、大正にかけて、琉球王府(県庁)を起点とした各番所(役場)への道筋は松並木だったのである。普天間街道や宜野湾並松、恩納馬場の松並木、美里など旧街道筋にあった松並木の写真を目にする事があ

二枚目の写真は、昭和三十年の仲原馬場である。松の大木が一本倒れているが、フェイ台風で被害にあったものである。フェイ台風は昭和十二年九月二十六日沖繩本島北部を通過し、那覇で瞬間最大風速六十メートルを記録、各地で大きな被害が出た。

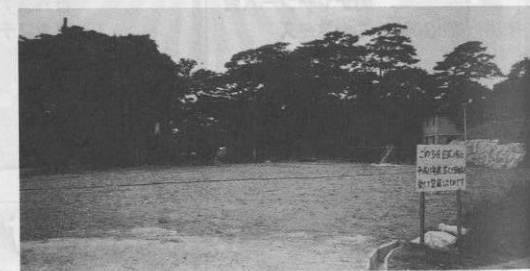
松並木の後方に見える建物は今帰仁小学校で、昭和三十年代に入り、茅葺き校舎からコンクリート校舎になった時期である。左側を歩く小学生はランドセルを背負い、一年生と見られるが裸足で下校である。現在の運動場は、まだ芋畑や砂糖キビ畑である。戦後五十年余経ち、スピード優先の時代となって道路も大きく立派になった。しかし蔡温松と名づけられた松並木に見られる先人達の道に対する政策は、私たちが失ってしまった生活の真の豊かさを教えてくれる思いがする。

仲原 弘 哲
(歴史文化センター)

平成11年度コミュニティ助成事業 多目的広場完成 「与那嶺区」

与那嶺区(山内清区長)では、このほど(財)自治総合センターの行うコミュニティ助成事業(宝くじ助成)による多目的広場が与那嶺構造改善センター(公民館)の隣に完成した。

同区では、この多目的広場の完成により各種スポーツ大会を通して健全なコミュニティ活動の推進を図るとともに地域活性化に大きく寄与するものと期待している。



▲宝くじ助成で完成した与那嶺区多目的広場

村選挙管理委員代わる

委員長に金城新治氏

これまで九年間村選挙管理委員、並びに委員長として村行政にご尽力下さった西平守福氏が六月三十日付で退任された。長い間大変ご苦勞様でした。

これに伴い七月一日付で新しい選挙管理委員長に金城新治氏(与那嶺八八)が、また選挙管理委員に喜納清憲氏(古宇利一三八四)がそれぞれ選任された。



金城 新治氏



喜納 清憲氏

これからは従来の委員玉城清さん(湧川)、前田吉仙さん(仲宗根)の四人体制で村選挙の管理にあたることになった。

選挙管理委員

職名	氏名
委員長	金城 新治
職務代理	玉城 清
委員	前田 吉仙
委員	喜納 清憲

あまから伝言板くまから

公的年金だから安心・有利です!!

経済変動に左右されません

国民年金の額は少なくとも5年に1度、国民の生活水準や賃金等の変動に応じて見直されています。さらに、物価が上がると年金額も自動的に上がる完全自動物価スライド制をとっていますので、年金の価値が目減りすることはありません。

税金が安くなります

保険料の全額が社会保険料控除の対象となりますので、所得税や住民税が安くなります。うけとる年金も、公的年金等控除で優遇されます。

国が運営するので安心です

国民年金は国が責任をもって運営しています。事務費など運営に必要な費用は国が負担し、支給される基礎年金の費用の3分の1は国が補助しています。

村農業委員選挙

立候補予定者説明会

八月二十日(金)十五時
村コミュニティセンター

第115期青年隊員募集要項

- 趣旨**
機械技術者として活躍しようとする青年、社会の中堅青年として活躍しようとする青年、農業自営を志す青年達を集めて「働きながら学ぶ」ことを基調に、規律ある共同生活を通じた協力、協調の精神と、たくましい開拓精神を涵養せしめると共に必要な知識と技術を習得させ、地域社会に役立つ青年を養成するため関係諸法規に基づいて充実した教育訓練を行う。
- 募集人員** 120名
- 応募資格**
(1)義務教育を修了した満25才までの独身男子
(2)心身健全で共同生活を守りうる者
- 訓練期間**
平成11年10月1日(金)～平成12年3月17日(金)
- 必要経費**
(1)入 隊 費……120,000円(訓練経費の一部負担)
(2)食 費……120,000円(訓練期間中の各人の食費)
(3)共同購入費……26,000円(教科書、隊服、ネクタイ、安全靴、ユニフォーム、飯盒、安全帽、室内用スリッパ等を全員揃えるため)
合 計……266,000円
★(資格取得経費は別納になります)
- 生活**
(1)自治運営による共同生活を行う。
(2)日 課
 (朝)6時に起床し、諸規律訓練を行う。
 (昼)農業、畜産、機械の実技と学科及び一般常識の講義を行う。
 (晩)10時の消灯まで自学自習又は講義を行う。

問い合わせ先 (社)沖縄産業開発青年協会
〒905-1204 東村字平良380-1
電話(0980)43-2118 43-2285
FAX 43-2505

地域振興券有効期間迫る

国の緊急経済対策の一環として、去る三月二十五日に交付されました地域振興券(商品券)の有効期間が迫っています。まだの方は早めにご使用ください。
※九月二十五日からは使用できません。



第20回 今帰仁村まつり

8月21日(土) 8月22日(日)

◆時間	◆行事	◆場所	◆時間	◆行事	◆場所
3:00~3:15	開会式(テープカット)	会場入口	3:00~9:30	即売コーナー、出店、福祉バザー	まつり会場
3:00~9:30	即売コーナー、出店、福祉バザー	まつり会場	4:00~4:30	空手演武	野外ステージ
3:30~6:00	グランドゴルフ大会	ホッケー場	4:30~6:00	子ヒッパ相撲大会	まつり会場
4:00~6:00	闘牛大会	村営闘牛場	5:30~6:00	子ヒッパスイカ割り大会	まつり会場
5:00~5:30	牛乳ストロー早飲み大会	野外ステージ	6:00~6:30	魚のつかみどり競争	まつり会場
5:30~6:00	フレイクダンス(高校生)他	野外ステージ	6:30~8:00	盆おどり(老人、婦人、子供、その他)	まつり会場
6:00~6:40	生バンド演奏	野外ステージ		いまじん太鼓	まつり会場
6:40~8:30	琉舞 金城種子舞踊研究所 上原福子舞踊研究所 新里直子舞踊研究所 真境名本流今帰仁支部	野外ステージ	8:00~8:10	花火打上げ	ホッケー場
	東太鼓(東村)	野外ステージ	8:10~9:30	カラオケチャンピオン大会	野外ステージ
	カチャーシー大会	野外ステージ			
8:30~9:30	ネーネース	野外ステージ			

8月21日~22日 いそ釣大会
会場/今帰仁村総合運動公園
/村営闘牛場

- ### で寄付
- 村社会福祉協議会へ
 - 運天健三さん(運天七七しとして十万円)
 - より母、仲様の香典返しとして十万円
 - 田港美代子さん(那覇市天久八一九一三)より母、トシ子様の香典返しとして十万円
 - 長田博正さん(宜野湾市野嵩三二二一九)より母、房様の香典返しとして五万円
 - 伊野波盛市さん(今泊二四二)より母、タツ様の香典返しとして十万円
- ※ご芳志ありがとうございました。

被害者相談窓口

犯罪にいつ、どこで巻き込まれるか、それは予想のつかないことです。もし、万一犯罪に巻き込まれることになれば、それはたいへん辛いことです。このような深刻な問題を抱えた被害者の方に対する支援・救援について、警察においても専門的な立場から相談に乗っています。どうぞ、一人で悩まずご相談下さい。

—— 秘密は守ります。お気軽にお電話を。 ——

警察の相談窓口

- ◇性犯罪、ストーカーなどの被害に関する相談
性犯罪被害者相談専用電話 TEL 098-868-0110
- ◇犯罪の被害にあった少年に関する相談
ヤングテレホンコーナー TEL 098-862-0111
- ◇暴力団犯罪などに関する相談
暴力情報110番 TEL 098-862-0007
- ◇悪質商法など生活経済犯罪の被害に関する相談
悪質商法110番 TEL 098-861-9110
- ◇警察に対する意見・要望・問い合わせ・困りごと相談
警察総合相談室 TEL 098-863-9110
又は#9110

現況届けはお早めに!!

児童扶養手当

特別児童扶養手当
現況届は、毎年一回すべての受給者が出す届です。
受給者の方は、八月十八日から十九日(午前九時~午後四時)までに村役場福祉課に提出して下さい。

もし、この届を出さないと、受給資格があっても、引き続き八月以降の手当の支払いを受けることができませんので、必ず提出して下さい。なおお知らせします。

児童扶養手当って何?

一人ひとりの児童が心身ともにすこやかに成長して欲しい、これは、国民すべての願いです。
児童扶養手当制度は、離婚や死亡などによって父のいない(父のいない状態)の児童が充実した家庭生活を送れるよう、その家庭の安定と自立の促進を図るための制度です。

受給資格

十八歳未満で、次のいずれかにあてはまる児童の母、もしくは、母がいないうか監護しない場合は、その児童を養育する方に対して児童扶養手当が支給されます。

- 父母が離婚後、父と別れて生活している児童
- 父が死亡した児童
- 父が重度の障害の状態にある児童
- 父の生死があきらかでない児童

対象児童

政令で定めた障害の状態にあること
・日本国内に住所を有すること
・障害を支給事由とする年金を受けていないこと
・児童福祉施設に入所措置されていないこと

受給資格者

- ・障害や病氣をもつ児童を監護している父若しくは母
- ・障害や病氣をもつ児童を養育している方
- ・日本国内に住所がある方

特別児童扶養手当って何?

重い障害や病氣を持つ児童を家庭で養育している父母、あるいは、父母にかわってその児童を養育している方に、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給されます。

受給資格

- 父がひきつづき一年以上遺棄(家庭をほうり出して面どうをみなくなつた状態)している児童
- 父が法令により一年以上拘禁されている児童
- 母が婚姻によらないで出生した児童

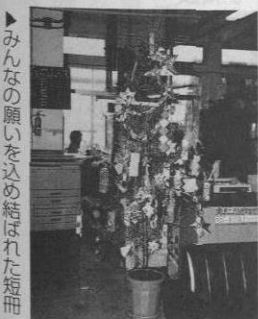
8月/葉月

1日	
2月	○ディサービス(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00コミセン) ○心身障害児通園事業(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00コミセン) ○健康相談(9:00~11:00 保健センター)
3火	
4水	○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30保健センター) ○麻しん予防接種(はしか)
5木	○区長会(14:00~2階会議室) ○1才半・3才児健診
6金	○骨粗しょう症予防教室(1回)(13:30~16:00 保健センター)
7土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
8日	○第55回今帰仁村球格技大会(村民体育館他)
9月	○健康相談(9:00~11:00 保健センター)
10火	○骨粗しょう症予防教室(2回)(13:30~16:00 保健センター)
11水	○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30保健センター) ○風しん予防接種(小1)
12木	
13金	
14土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○村少年野球大会 ○小学生ムラ・シマ講座
15日	
16月	○健康相談(9:00~11:00 保健センター) ○牛セリ(セリ市場)
17火	○骨粗しょう症予防教室(3回)(13:30~16:00 保健センター) ○星座教室
18水	○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30保健センター) ○星座教室
19木	
20金	○区長会(14:00~2階会議室) ○風しん予防接種(小1モレ)
21土	○村まつり

22日	○村まつり
23月	○健康相談(9:00~11:00 保健センター)
24火	
25水	○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30保健センター)
26木	○デイケア
27金	
28土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○乳児一般健康審査
29日	○国頭郡球格技大会(サッカー)
30月	○健康相談(9:00~11:00 保健センター)
31火	

9月/長月

1水	○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30保健センター)
2木	○住民健診(兼次・諸志)
3金	○住民健診(仲尾次・与那嶺)
4土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○住民健診(今泊)
5日	○住民健診(仲宗根)
6月	○区長会(14:00~2階会議室) ○住民健診(崎山・平敷) ○健康相談(9:00~11:00 保健センター)
7火	○住民健診(謝名・越地) ○親子教室(13:30~16:00 保健センター)
8水	○村畜産共進会 ○住民健診(玉城・呉我山) ○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~16:30保健センター)
9木	○住民健診(湧川)
10金	



▶みんなの願いを込め結ばれた短冊

七月七日は「七夕」。

この日村役場では、住民課の女子職員を中心に村民の健康と村の発展を願い、職員が腕によりをかけて準備した色鮮やかな飾りで七夕を演出した。

ササの葉に結ばれた短冊には、「若さや美しさをいつまでも」、「みんなが幸せになれるように」、「欲は言いません。せめて一萬円の宝くじが当たりますように」などと、願いごとが書き込まれていた。

村役場では今後とも住民へのサービスをモットーに職員一同頑張りますので、村民の皆様お気軽にお越しください。

編集後記